



LDAP APIメソッド

Element Software

NetApp
November 12, 2025

目次

LDAP APIメソッド	1
LdapClusterAdmin の追加	1
パラメータ	1
戻り値	1
リクエスト例	2
応答例	2
バージョン以降の新機能	2
詳細情報の参照	2
LDAP認証を有効にする	2
パラメータ	2
戻り値	6
リクエスト例	6
応答例	7
バージョン以降の新機能	7
LDAP認証を無効にする	7
パラメータ	7
戻り値	7
リクエスト例	7
応答例	7
バージョン以降の新機能	8
LDAP構成の取得	8
パラメータ	8
戻り値	8
リクエスト例	8
応答例	9
バージョン以降の新機能	9
テストLdap認証	9
パラメータ	9
戻り値	10
リクエスト例	10
応答例	10
バージョン以降の新機能	11

LDAP APIメソッド

LdapClusterAdmin の追加

使用することができます `AddLdapClusterAdmin` 新しい LDAP クラスター管理者ユーザーを追加します。LDAP クラスター管理者は、API と管理ツールを使用してクラスターを管理できます。LDAP クラスター管理者アカウントは標準のテナント アカウントとは完全に別個であり、無関係です。

パラメータ

この方法を使用して、Active Directory® で定義されている LDAP グループを追加することもできます。グループに付与されたアクセス レベルは、LDAP グループ内の個々のユーザーに渡されます。

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
アクセス	このクラスター管理者が使用できる方法を制御します。	文字列配列	なし	はい
EULAを受け入れる	エンド ユーザ ライセンス契約に同意します。クラスター管理者アカウントをシステムに追加するには、true に設定します。省略または false に設定された場合、メソッド呼び出しは失敗します。	ブーリアン	なし	はい
attributes	JSON オブジェクト形式の名前と値のペアのリスト。	JSONオブジェクト	なし	いいえ
ユーザ名	新しい LDAP クラスター管理者の識別ユーザー名。	string	なし	はい

戻り値

このメソッドには戻り値はありません。

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例ようになります。

```
{
  "method": "AddLdapClusterAdmin",
  "params": {"username": "cn=mike
jones,ou=ptusers,dc=prodtest,dc=solidfire,dc=net",
  "access": ["administrator", "read"]
},
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {}
}
```

バージョン以降の新機能

9.6

詳細情報の参照

[アクセス制御](#)

LDAP認証を有効にする

使用することができます `EnableLdapAuthentication` クラスターへの LDAP 認証用の LDAP ディレクトリ接続を構成する方法。LDAP ディレクトリのメンバーであるユーザーは、LDAP 資格情報を使用してストレージシステムにログインできます。

パラメータ

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
認証タイプ	<p>使用するユーザー認証方法を識別します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DirectBind • SearchAndBind 	string	検索とバインド	いいえ
グループ検索ベースDN	グループ サブツリーの検索を開始するツリーのベースDN。	string	なし	いいえ
グループ検索タイプ	<p>使用されるデフォルトのグループ検索フィルターを制御します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NoGroups: グループはサポートされません。 • ActiveDirectory: ユーザーのすべての Active Directory グループのネストされたメンバーシップ。 • MemberDN: MemberDN スタイルのグループ (単一レベル)。 	string	アクティブディレクトリ	いいえ

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
サーバーURI	LDAP または LDAPS サーバー URI のコンマ区切りリスト。コロンの後にポート番号を続けることで、LDAP または LDAPS URI の末尾にカスタム ポートを追加できます。たとえば、URI 「ldap://1.2.3.4」 はデフォルト ポートを使用し、URI 「ldaps://1.2.3.4:123」 はカスタム ポート 123 を使用します。	文字列配列	なし	はい
ユーザー検索ベースDN	サブツリー検索を開始するツリーのベース DN。authType として SearchAndBind を使用する場合、このパラメータは必須です。	string	なし	いいえ
検索バインドDN	ユーザーの LDAP 検索を実行するためにログインするときに使用する完全修飾 DN。DN には LDAP ディレクトリへの読み取りアクセスが必要です。authType として SearchAndBind を使用する場合、このパラメータは必須です。	string	なし	はい
searchBindPassword	検索に使用される searchBindDN アカウントのパスワード。authType として SearchAndBind を使用する場合、このパラメータは必須です。	string	なし	はい

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
ユーザー検索フィルター	LDAP サーバーを照会するときに使用する LDAP 検索フィルター。文字列にはプレースホルダーテキスト ト「%USERNAME%」が含まれている必要があり、これは認証ユーザーのユーザー名に置き換えられます。たとえば、(&(objectClass=person)(sAMAccountName=%USERNAME%)) は、Active Directory の sAMAccountName フィールドを使用して、クラスター ログイン時に入力されたユーザー名と一致させます。 authType として SearchAndBind を使用する場合、このパラメータは必須です。	string	なし	はい
ユーザーDNTemplate	完全なユーザー識別名 (DN) を構築するためのパターンを定義するために使用される文字列テンプレート。文字列にはプレースホルダーテキスト ト「%USERNAME%」が含まれている必要があり、これは認証ユーザーのユーザー名に置き換えられます。DirectBind の authType を使用する場合、このパラメータは必須です。	string	なし	はい

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
グループ検索カスタムフィルター	CustomFilter 検索タイプで使用する、ユーザーのグループの DN を返すために使用する LDAP フィルター。文字列には、必要に応じてユーザー名と完全な userDN に置き換えられる %USERNAME% と %USERDN% のプレースホルダーテキストを含めることができます。	string	なし	はい

戻り値

このメソッドには戻り値はありません。

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{
  "method": "EnableLdapAuthentication",
  "params": {
    "authType": "SearchAndBind",
    "groupSearchBaseDN": "dc=prodtest,dc=solidfire,dc=net",
    "groupSearchType": "ActiveDirectory",
    "searchBindDN": "SFReadOnly@prodtest.solidfire.net",
    "searchBindPassword": "zsw@#edcASD12",
    "sslCert": "",
    "userSearchBaseDN": "dc=prodtest,dc=solidfire,dc=net",
    "userSearchFilter":
    "(&(objectClass=person)(sAMAccountName=%USERNAME%))",
    "serverURIs": [
      "ldaps://111.22.333.444",
      "ldap://555.66.777.888"
    ]
  },
  "id": 1
}
```


応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
  }
}
```

バージョン以降の新機能

9.6

LDAP認証を無効にする

使用することができます `DisableLdapAuthentication` LDAP 認証を無効にし、すべての LDAP 構成設定を削除する方法。この方法では、ユーザーまたはグループに対して構成されたクラスター管理者アカウントは削除されません。LDAP 認証が無効にされると、LDAP 認証を使用するように構成されたクラスター管理者はクラスターにアクセスできなくなります。

パラメータ

このメソッドには入力パラメータはありません。

戻り値

このメソッドには戻り値はありません。

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{
  "method": "DisableLdapAuthentication",
  "params": {},
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {}
}
```

バージョン以降の新機能

9.6

LDAP構成の取得

使用することができます `GetLdapConfiguration` クラスター上で現在アクティブな LDAP 構成を取得する方法。

パラメータ

このメソッドには入力パラメータはありません。

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

Name	説明	タイプ
ldap構成	現在の LDAP 構成設定のリスト。 この API 呼び出しでは、検索アカウントのパスワードのプレーンテキストは返されません。注: LDAP 認証が現在無効になっている場合、返される設定はすべて空になります。ただし、「authType」と「groupSearchType」はそれぞれ「SearchAndBind」と「ActiveDirectory」に設定されます。	ldap構成

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{
  "method": "GetLdapConfiguration",
  "params": {},
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "ldapConfiguration": {
      "authType": "SearchAndBind",
      "enabled": true,
      "groupSearchBaseDN": "dc=prodtest,dc=solidfire,dc=net",
      "groupSearchCustomFilter": "",
      "groupSearchType": "ActiveDirectory",
      "searchBindDN": "SFReadOnly@prodtest.solidfire.net",
      "serverURIs": [
        "ldaps://111.22.333.444",
        "ldap://555.66.777.888"
      ],
      "userDNTemplate": "",
      "userSearchBaseDN": "dc=prodtest,dc=solidfire,dc=net",
      "userSearchFilter":
        "(&(objectClass=person)(sAMAccountName=%USERNAME%))"
    }
  }
}
```

バージョン以降の新機能

9.6

テストLdap認証

使用することができます `TestLdapAuthentication` 現在有効になっている LDAP 認証設定を検証する方法。構成が正しい場合、API 呼び出しはテスト対象ユーザーのグループメンバーシップを返します。

パラメータ

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
ユーザ名	テストするユーザー名。	string	なし	はい

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
パスワード	テストするユーザー名のパスワード。	string	なし	はい
ldap構成	テストする ldapConfiguration オブジェクト。このパラメータを指定すると、LDAP 認証が現在無効になっている場合でも、システムは指定された構成をテストします。	ldap構成	なし	いいえ

戻り値

このメソッドには次の戻り値があります。

Name	説明	タイプ
グループ	テスト対象のユーザーをメンバーとして含む LDAP グループのリスト。	配列
ユーザーDN	テスト対象ユーザーの完全な LDAP 識別名。	string

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{
  "method": "TestLdapAuthentication",
  "params": { "username": "admin1",
              "password": "admin1PASS"
            },
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "groups": [
      "CN=StorageMgmt,OU=PTUsers,DC=prodtest,DC=solidfire,DC=net"
    ],
    "userDN": "CN=Admin1
Jones,OU=PTUsers,DC=prodtest,DC=solidfire,DC=net"
  }
}
```

バージョン以降の新機能

9.6

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。